

元村々會議日誌

那賀郡三村

0177

安楽川村文書 I

文書
番号

019

28m

37 98 99 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

那賀郡元村々會議日誌
明治十三年九月廿六日正午開場

議長

片山善四郎

議員兼副議長

平野葛次

議員兼幹事

津田雄三郎

全員

榑木重次郎

議員

永長伊助

全

山入清左門

全

林伊右門

全

田中專左門

全 岩田市兵衛
 全 森崎弥之助
 全 片山嘉兵衛
 全 田中慎一郎
 全 乾直輔
 ○右議長副議長及議員各首席一同礼行
 ○本日開場戸長津田作之丞筆生津田正太郎議
 場ニ臨ミ祝辭ヲ述フ其語ニ曰ク
 ○紀元貳千五百四十年九月念六日水村通常村會第貳期
 開場之式ヲ舉ルニ方リ代議諸君登場列ラテス宣滿場

美ナラシヤ亦欣祝セザランヤ抑ニ望ム諸君客歲議會之
 結果ヲ略了ニ特ニ本會改正之議按ラ根トシ既佳成
 蹟ニ將來ヲ量リ以テ本會ニ主トスル土工費又辨尋
 凶荒豫備蓄積方法定ニ諸君誠意ノ論議ニ全ク向テ
 改良之法ヲ設ケ倍々村民公益ノ福祉ノ鞏固セシメ以
 本村議會ノ盛舉ヲ信入廷生延年ノ美草ヲ視ミ又好
 結果ヲ得ルヲ祝ス

那加夏郡元村
 戸長 津田作之丞

維明治十三年本月本日元村通常村會第二期
開場、舉、乘、代議士諸君相競、登場列、宣
感激、地へ、生、顧、世會、客歲某月、開、
各位、竭力、同心、大、村中、維持法、爲、
又本會訂正、議、按、原、議、真、諸、討論、審
議、屈、ス、撓、ス、復、緊、要、山、此、此、豫、備、本、堂、等、方
法、設、漸、談、村、衰、運、挽回、恰、是、紀、川、混
々ト流、不、己、龍、門、山、蜿蜒、擯、筆、屹、立、シ、不、動、
如、得、來、村、中、安、寧、得、一、是、吾、輩、切、望、也、
ナリ、聊、サ、素、志、陳、シ、以、祝、詞、爲、ス、

元村

津田正太郎

明治十三年九月十六日

戸長津田作之丞番外、席、有、尋、書、記、議、案、可、第
是、地、價、割、規則、及、説明、書、朗、読、ス、

議員一同會議前、當、り、昨、年、會、規、定、場、ノ、時、限、更、定、
也、二、三、望、之、議、題、議、開、則、從、來、九、時、正、場、
正、午、十二、時、正、場、決、ス、

本日、正、午、會、日、ナ、ル、以、テ、議、場、併、裁、簡、ツ、ル、等、シ、時、
移、日、既、而、山、頭、キ、時、正、六、時、報、ス、以、テ、開、場、セ、リ、

移、日、既、而、山、頭、キ、時、正、六、時、報、ス、以、テ、開、場、セ、リ、

二十七日壬午元會

前日朗読シ議案ヲ審議スルニ満場ノ議員其原案ノ可ナルヲ還ブルヲ以テ議長曰ク其可トス諸員一記立セヨト碎ブ之ニ應ゼルモノナシ故ニ系按ニ決定ス

○甲第二號議案戸枚割ニ關シ書記朗読ス終リテ議長談議案說明ニ曰ク抑昨年毎戸等級ニ定メタル雖モ農ニ豊凶別リ商ニ利不利ノ違ヒ其能ク是ヲ以テ毎戸多少ノ盛衰ヲ來リセバ本年更ニ實地等級改正セヨ如何ト各員ニ謀ルニ(六番議案)四番議案等議長說明實際ニ適當セリト答フ

隨(六番四番)議員等之ヲ小會議ニ付シ細密ニ調査セリヲ望ム於是議長之ヲ起立ニ問ヒシニ悉皆之ニ應ズルヲ以テ明ニ十八日小會議ヲ行フニ決定セリ然ルモ其調査委員四名ヲ却ラ混雜シ生カレタルヲ以テ該委員四名ヲ投票ス其得票ニ當ル者山入満門林崎弥之助榎本重次郎村伊門ノ四名ナリ時ニ鳴鐘四時ヲ報スルヲ以テ暫時休耕ス
四時三十分元場第三号議案道路路橋梁用患水路太堀其他諸官署費等ヲ議ス書記談議案ヲ朗読シ(番外)隨テ說明セリ議長議長曰ク議案按テ管轄ノ所ニ屬ス方別ニ審議セヨ如何(四番)曰ク管轄所モ頗ル多ク且ツ

本年度より土木費下付、儀、廢止付、ハ及、復、審議セサレ
ベカラズ故、是、前、同、採、明、日、小、會、議、付、ス、ル、ヲ、却、テ、モ、ト、其、他
各、員、於、テ、各、議、ナ、キ、ヲ、以、テ、議、長、(西、番)、同、意、方、ハ、起、立、セ
ヨ、ト、命、ス、ル、ニ、悉、皆、起、立、是、ヲ、以、テ、小、會、議、付、ス、ル、決、セ、リ、時、將
ニ、六、時、上、リ、以、テ、各、員、退、散、ヲ、命、ジ、同、場、セ、リ、

二十八日小會議

午前戸数等組調査委員等戸長役場ニ於テ等組
調査正午十二時十分小會議ヲ開ク
○戸数等組、上下スルニ、議、論、區、々、ヲ、以、テ、今、盡、シ、記、

載、テ、甲、第、三、号、議、按、諸、當、緒、々、ヲ、述、一、柱、別、ニ、第、一
火、漏、井、堀、漏、節、漏、下、惣、及、別、試、第、二、火、漏、節、技、溝、節、
田、者、惣、凌、第、三、溜、池、其、惣、及、別、凌、第、四、惣、水、溝、
不、動、產、上、堀、道、通、過、同、所、下、東、側、堀、本、分、水、路、
五、門、持、地、堀、橋、迄、悉、皆、村、中、凌、第、五、堀、本、分、水、路、
北、六、及、堀、迄、溝、橋、手、東、側、道、路、右、同、所、第、六、
岩、谷、口、上、瀧、下、水、戸、堀、迄、前、同、所、第、七、字、
片、山、下、南、谷、口、迄、北、不、動、產、口、橋、迄、前、同、所、第、八、
六、隻、戸、前、北、溝、節、悉、皆、有、田、者、及、別、試、第、九、首、
路、西、市、場、村、境、堀、東、殿、新、田、村、堀、込、村、凌、

十北段新田村境より南神田村境迄前同新第十一北字
梅檀・木平野久左郎持地通より南神田村境字廻り田
上田京持地通より前同新第十二三昧道市端村境
より三昧道市端村元村面村立倉修繕より第十三
其他徑村中燃出漬人丈三秋ノ彼岸中ノ管理丁
但し本竹石村方より出ス決ス
○時ニ衆議夏曰本年上半季分ノ協議堂ニ係ル諸帳
簿ヲ一覽セシム欲ス依テ議長ヨリ村用係乾直輔ニ
モ書翰ヲ通ス
○本年上半季分協議堂ニ係ル諸帳簿ヲ議員中於テ

熟覽致シ度旨申出候間戸長役場ヨリ借受御差出
被下候様致シ度ハ處此段及御照會共也

九月九日

議長

副議長

村用係

乾直輔殿

幹事
中ノヨリ

○是ミ至リテ己ニ黄會ナルヲ以テ議長ヨリ散會ヲ命ズ

二十九日午後一時間場

○前日小會議ニ於テ及重複辯論セシ戸数等級改正

明細議案ヲ書記朗読ス議長原按同意ノ者ヲ起立
ニ問フニ悉皆起立セルヲ以テ原按ニ決定ス
○尋テ道路橋梁諸當該等ノ議案ヲ書記朗読ス(番
外)其原按ノ不立當出ニ陳ヤリ是ヲ以テ逐條議ス
ルニ決セリ而シテ第一條第二條第三條ヲ審議
セシ未起立ニ問ヒシ悉皆起立フルヲ以テ原按ニ決ス
○姫本分水ヨリ六五橋迄原按ニ決ス
○(十二番)不動谷橋ヨリ其上ノ橋迄間ニ破損ノ所見
ニ僅距離ニテ甲ハ村中凌ギ乙ハ地主凌ギハ頗ル不
公平ナリ是ヲ以テ折半シ其半分ヲ村中凌ギトシ其半

ヲ地主凌ギトセバ大ニ其當リ得ルヲ曰フ(九号)ハ皆
村中凌ギヲ可トス如何トアレバ地主凌ギニテハ設如破
損スルモ等閑ノ憂ヲ生ナト曰ワリ於是(議長)(十
二番)ノ説則第一橋ヨリ第二橋迄當該スルヲ可ト
スルモノハ起立セヨト之ニ意不爾者多キヲ以テ(十二番)
ノ説ニ決ス
○尋テ(九番)ノ説第一橋ヨリ第二橋迄ハ村中凌
ギニ同意ノ者ヲ起立セシメシニ起立十一名則多ク致ラ以テ
其議ニ決ス
○而シテ(九番)曰ク谷口第片山下ニ悉皆村中凌ギ

セバ如何ト他ニ異議者ナキヲ以テ起立ニ同意
ナルヲ以テ前同様村中凌ぎニ決議ス

○九番道路踏地價凌ぎヲ將テ戸数抵リ終ト同
議長曰ク談費ハ地價ニ七分戸数ハ三分ナリト答フ

○議長曰ク議案ノ如ク縦横ノ大道ハ村法ニ其地ハ村
中出資人丈ヲ以テスルヲ可トスルニ決ス
起立アレト之ニ應
シテ起立スル者悉皆故ニ同意ニ決ス

○議長曰ク招徠川堤修繕ノ儀如何ト(九番)市
場最上神田三村ニ於テ之旧例ノ如ク談費用ヲ支辨
セハ可ナリ然ラザレバ他日聯合會ヲ開キ審議セシ

ヲ望ムト曰フ(四番)荒番ヲ賛成ス(番外)曰フ四ヶ村聯合
會ヲ定クモ本村ニ於テハ忍ラズナリナキヲ喋々ト辨
解セラレタリ(四番)曰ク今番外ノ説明ヲ聞クニ至理
ニ當レリト雖モ市場村ハ旧慣ヲ守ルセシト云ヒ本村ハ然ラ
ズト云フ夫レ聯合會ノ必要トスル所然レトモ尙シ
聯合會ヲ定ク能ハザレバ及不復熟議ノ上政府ニ
之ヲ歎願セント於是議長之レニ同意者ヲ起立セシ
ムルニ悉皆起立ナルヲ以テ(四番)ノ説ニ決ス
○時ニ四時ヲ報スルヲ以テ暫時休憩
○四時二十分開場

○甲第四号議案ヲ書記朗讀ス而シテ番外議案ノ説
明ヲナセリ(四番)曰ク凡ソ人民ノ代議士ハ何人ヲ論ザル
必ク議院ノ如ク支給セラルベカラズ然レバ強ク今日不負ハ我
田ニ水ヲ引カズ諸君ニ其可否ヲ質サン議長(四番)
説ニ同意者ヲ呼ブニ番皆起立因テ原案ニ決定ス時
ニ津田雄三郎永長伴助ノ二名ハ病氣ナルヲ以テ退
席セリ次ハ

○甲第六号議案則チ書記立テ朗讀シテ番外議
案林謙三助種ノ説明其寄附金ノ容易ニ集金ナ
ラザルヲ陳ジ自後良法ヲ設ケンテラ喋リ述ベタリ

(六番)学務委員ニ於テ實費目録ヲ製シ一覽ノ上決セ
如何ト云フ議長曰ク上半年分ノ目録ヲ熟覽シ後小
會議ニテ決セント(六番)寄附金ノ議ハ各豫ラ承諾セ
レタリ然ルニ其集金ノ遲滞スル何故ナルヤト其他小論
アリト雖ドモ遂ニ何レヲ可トスルニ至ラズ明日更ニ小會
議ニ付スルニ決定シ七時退散ス

三十日午前八時小會議

戸教等級貸麦等ノ貸付色々協議ノ未貸麦等
及学費等ヲ徴収スルニ定リ正午ヨリ會議

○甲第五号議案の書記朗読然レドモ別ニ勅議
ナキヲ以テ原案決ス尋テ乙第一号議案の書記
朗読(九番)曰ク其議案給ハ二内ニ名リ又ハ
一名カト質同(議長)二名ナリト云テ(九番)二名
ニテ可ナリト曰フ(五番)曰ク当年ハ二名ナレドモ来
年ハ一名トシテ可ナリト(九番)村中見廻リ月一
度ニテ可ナリト云フ(四番)曰ク二内ノ給ヲ三内トシ
見廻リハ曰ク定メテ汚穢物ノ掃蕩ニ注意スルヲ可
トス(五番)曰ク死亡生産等ノ手數モアリ故ニ四内ノ
給トセハ可ナリト(十二番)曰ク増給ニハ及バザルベシト

(五番)本年ノ如キハ惡疫流行セザレドモ昔ニ流行
セバ不至当ト云フ故ニ必ズ増給スベシト云フ(四番)
惡疫流行ノ際ニ其都度日當ヲ給シテ可ナリト云
(五番)其日當ノ額ハ如何程ト云フ(九番)金五
拾錢ト答フ其他種々小議論アリ終ニ各起立
シ命ゼシニ繫給ハ三内惡疫流行ノ際日當金五
拾錢何レモ多敷ニ付リ之ニ決セリ
○時ニ四時ナリ以テ議長ヨリ暫時休息ニ命
ジ時三十分間場書記乙第二号議案ヲ朗読ス
○(九番)曰ク此荒豫備ノ容易ナリト云テ大事ト云ハ

臨時會の開き及覆議シテ可トト(四番)九番賛
成ス因テ議長其(九番)同意有起立セシメシニ全夏
起立ナラハ臨時會に附スルヲ決セリ
○於是議案の議を終リシヲ以テ本年通常會の開
場之時、林謙之輔ヲ左ニ祝辭ヲ述べ

丈レ本村第二期通常村會ヲ舉ニ當場開タ日
浅クニテ本日閉場ノ舉アリ然リ而シテ其議案ノ數
個ヲ第一二三次會ニ付シ其短ヲ擧テ長ヲ取リ粗
去リ精ニ選リ逐條審議及覆討論確議完

了スルハ諸君相競ヘテ進取ノ氣象ヲ振ヒ刻
苦勉勵敢テ倦マズ因テ今閉場ニ付我輩
村民ニ代リ之ヲ述テ前途ニ祝ス

明治十三年九月二十日

那賀郡元町 林謙之輔

拓榴川筋修繕委員ヲ投票ス其當選
人ハ左ニ

片山善四郎
平野葛次

第一期議員退任者左ニ

古

林 龍三 郎
津田 雄三 郎

永長 伊助
田中 順一郎
岩田 市兵衛
林 伊直 門
津田 雄三 郎

古七名

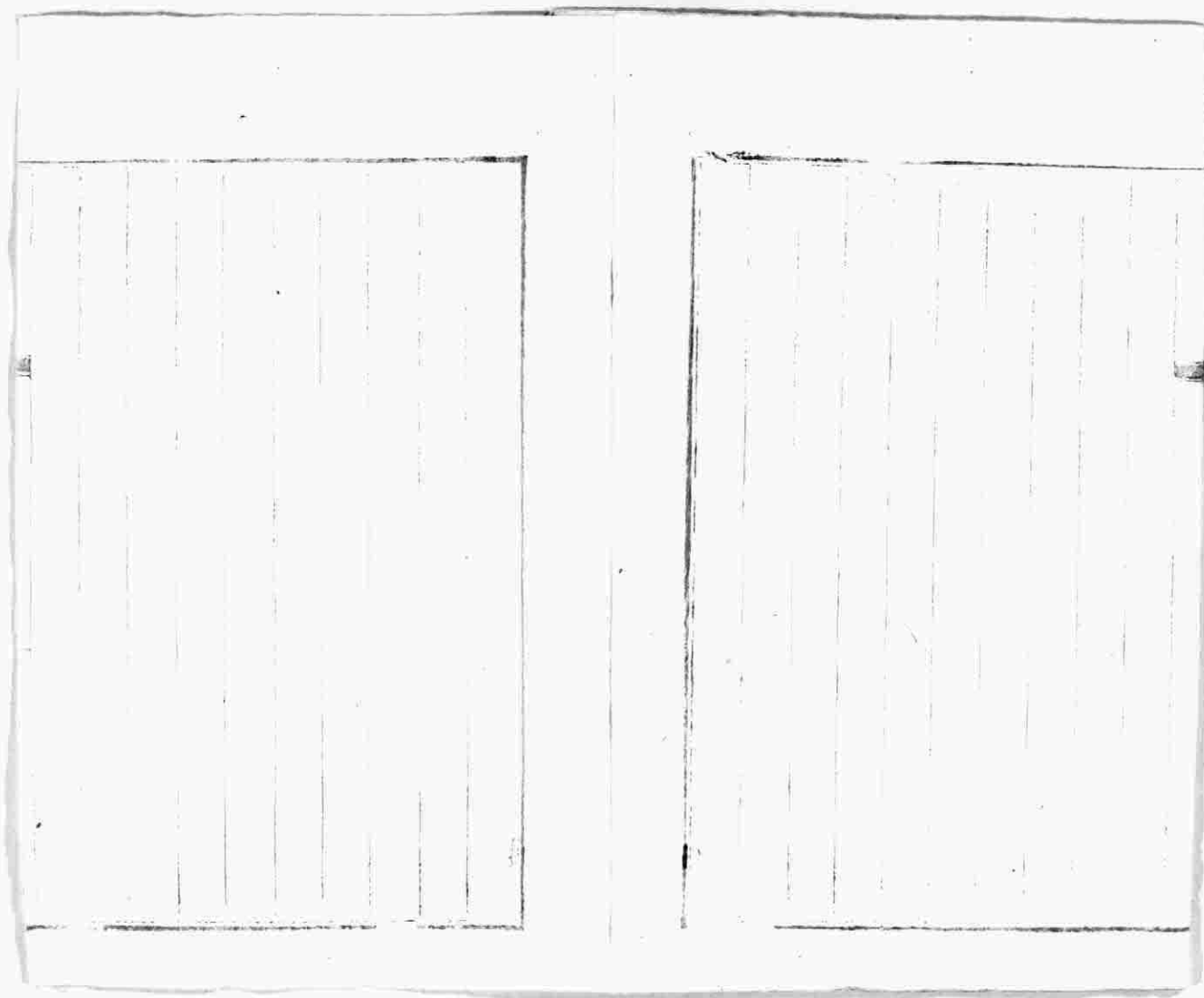
小屋ヲ建^テ興^テ又^ハ山^ノ南^ニ村税規則

一人ノ住宅ニ^テ浮世講釋或ハ淨瑠璃ノ類
政府ニ上納スル税金ノ四倍ニ^ス

古税金ノ二倍

乾直 輔
山入 清五 門

古ニ通日誌概畧



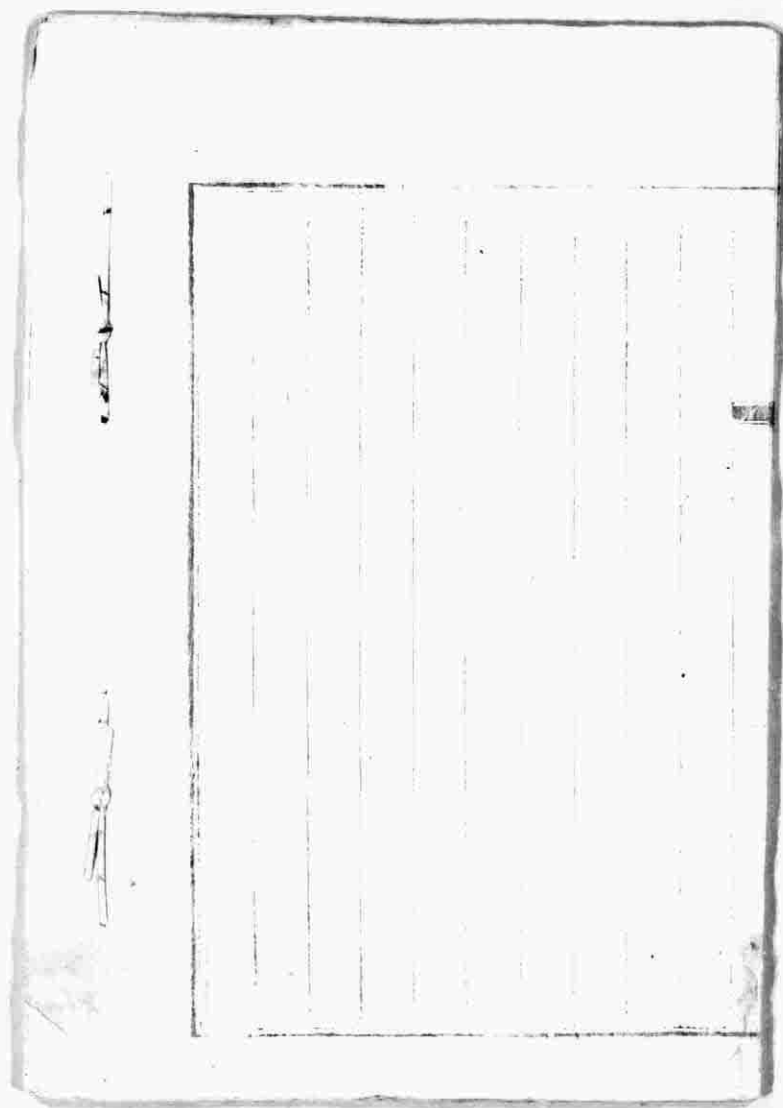
0190

安楽川村文書 I

文書
番号

019

28m 10 20 21 22 23



0191

安楽川村文書 I

文書
番号

019

28m 10 20 21 22 23